



誰かのために私ができること

渡邊 均さん（白石）

**私**

は現在、猟友会のメンバーとして日々邁進しています。猟友会では、猪や鹿、人に感染する恐れのある病気にかかった有害鳥獣の駆除を行う活動をしています。有害鳥獣は、人や動物への感染症や農林産業に大きな被害をもたらします。また、動物のかわいいい見た目から想像もできないような、人や環境に及ぼす影響の恐ろしさを兼ね備えています。

私は24歳ごろから猟友会に入り、早いもので45年ほどが経ちます。動物の命を扱うため、慎重かつ丁寧に作業しなければなりません。そのため、長年、有害鳥獣の駆除に携わっていても、定期的に射的練習をするなど自身のレベルアップを図ることを怠りません。

猪や鹿、熊など遠いよう身近な存在の動物たちに、感謝と敬意を持ちながら命を扱っています。これらの経験を通して猟友会の活動は村のため、困っている人のために誰かがやらなければいけない活動であると私は考えています。

それを心にとめながら、私にできることを精一杯頑張っていると思っています。

最後に、猟友会の活動に対し、地域の皆さまにはご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

東秩父村議会の代表として



私は、昨年の6月定例議会にて議長に就任いたしました。議長という職は、議会の秩序や運営を管理するとともに、村への適切な助言や協調を行うことが主な役割です。

長年、東秩父村議会議員としてお世話になりましたが、今は議長という大きな責務を果たすため日々邁進しているところでございます。

議長として、さまざまな場面で多くの方と出会います。一つひとつの出会いに感謝しながら、村をより良くする考えを常に持ち、努力していきたいと考えています。また、今の東秩父村議会には多くの方々に支えていただき成り立っております。それを胸にとどめ、今後も誠心誠意努めてまいります。

（参議院議長 関口昌一氏との写真）